

とてもシンプルで気持ちいい空間があります。  
開放的な空間に最小限のあかりと家具が配置されます。  
しかし住まう人のアクティビティーを最大限に増幅させる可能性があります。  
さまざまな選択肢がある中、そんなシンプルな空間を選択した施主。  
それを実現化させた建築家、構造家、そして照明家。  
このような空間の気持ちよさを少しでも体験してください。

住宅照明を設計する場合に多様化する使われ方を同時に考慮すると  
たくさん照明器具が取り付けられてしまい  
いつのまにか乱雑とした空間になってしまいます。  
そこで最低限その場所に必要な光の一つ考えてみます。  
すると、その場所で実際に何をできるかが見えてくるはずですが、  
メリハリのついた、雰囲気の良い光環境が自然に出来上がり  
その一つの光が実際には心地よく感じるはずですが、  
多少の不便、またはストレスを感じることも重要だと思えます。  
それによって、そこでの住まい方がより明確になるからです。

住まいのあかりを考えることは生活を考えることでもあります。

ライティングアーキテクト 角縮政英

ぼ ん ぼ り  
<http://www.BonBori.com>

ゼロ

## 0からのすすめ

- 暗闇にひかりを加えていく -





## 人の行為に合わせた光

歩く、階段を上る、ごはんをたべる、寝る...生活するということは様々な動き、行為の連続です。そういった自分の生活を考えていくと、おのずと本当に必要な光が見えてきます。それを見つけることが自分だけの光環境を創り出すことだと考えています。

# 02

リビング ライト



空を捕まえる家2 写真/木田悠久

## 空間を感じる光

間接照明、ブラケット、スタンドなど、光のアイテムや手法はたくさんありますが、一度リセットして、まずその空間の持つ特徴をもういちど見直してみます。その空間に一番フィットして、なおかつ気持ちよいと感じられる光。それは意外にシンプルでミニマムなものかもしれません。

# 03

リビング ライト



ランプは好きな位置に  
取り付けられます。

## フレキシブルな光

欲しいところに欲しいときに欲しい光があるのが理想的ですが、現実の住宅の中ではそんな魔法のようにはいきません。

自分の生活スタイルをあれこれ想像し、いろいろな可能性を考えてみる。

そして「こうしたい！」にできるだけ応えられるような光も用意しておく。

小さなスタンド一つが生活の自由度を広げてくれるかもしれません。

# 04

リビング ライト